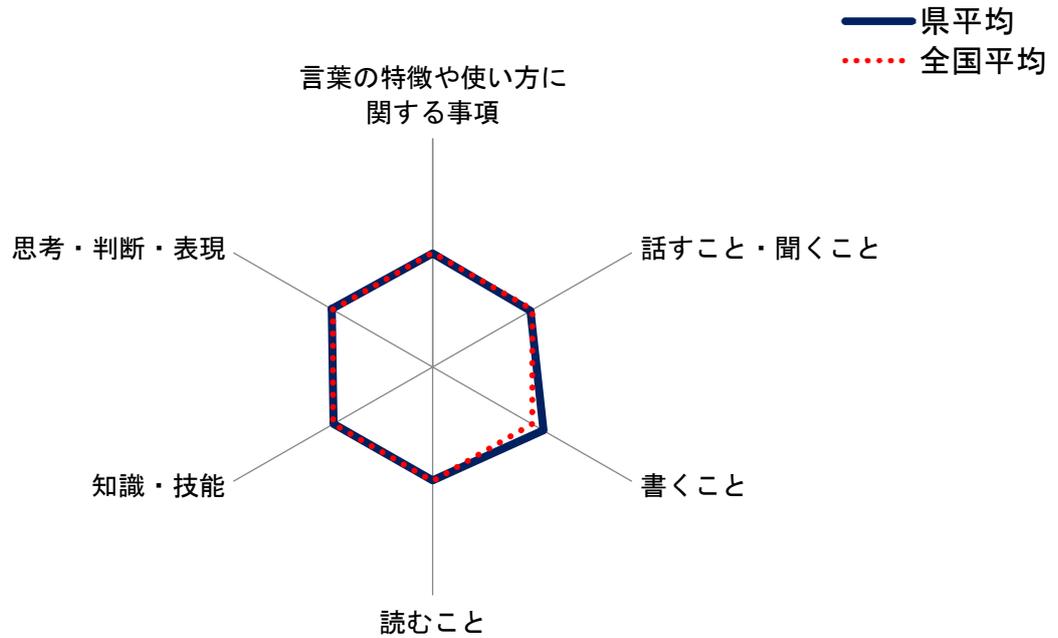
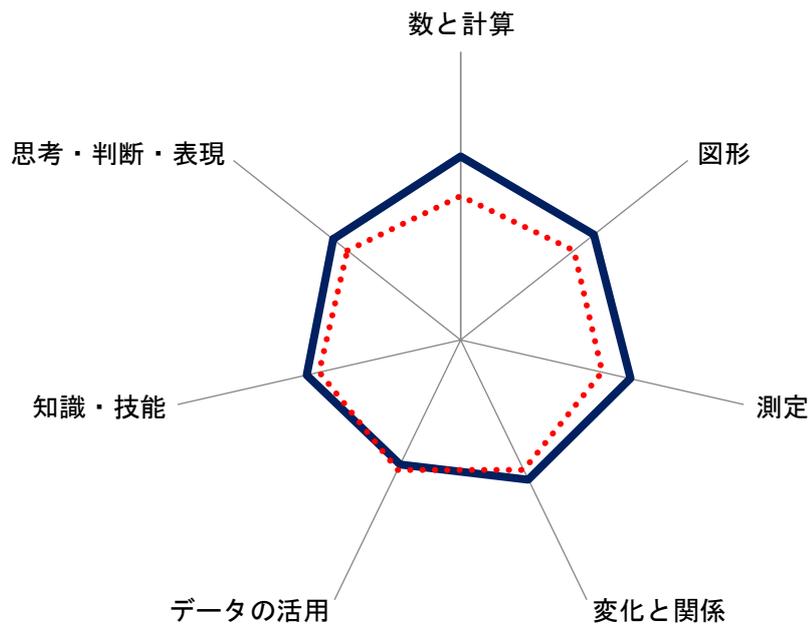


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

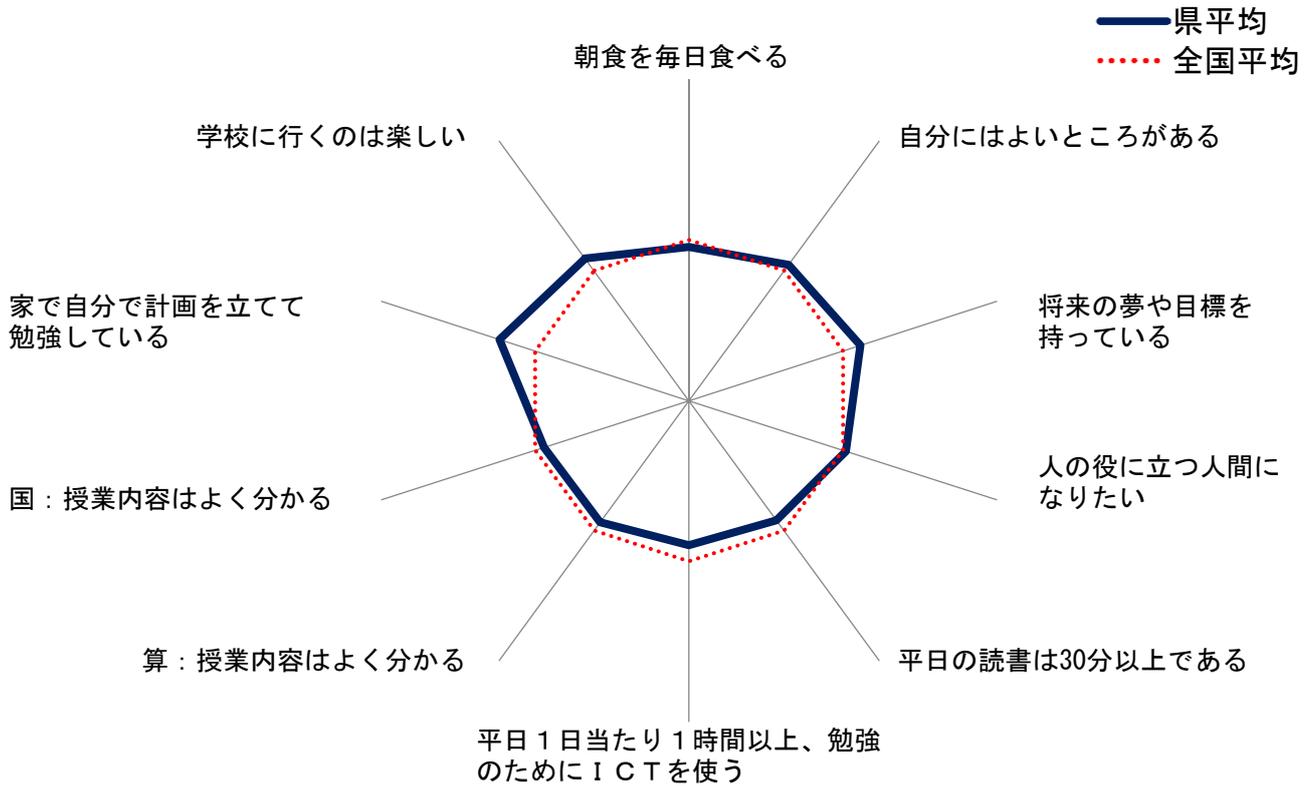
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数とも全国平均とほぼ同じか上回っている。特に算数の「数と計算」や「測定」の項目は良好な結果である。一方、国語は、「話すこと・聞くこと」の項目などで全国平均をわずかに下回っており、基礎的・基本的事項の定着に課題が見られる。今後も学力の定着と向上に向けて、設問ごとの詳細な分析を行い、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続する必要がある。

児童質問紙調査では、取り上げているほとんどの項目で全国平均とほぼ同じ結果である。「家で自分で計画を立てて勉強している」の項目は全国平均を上回っているものの、「平日1日当たり1時間以上、勉強のためにICTを使う」の項目は全国平均を下回っており、ICTの積極的な活用に課題がある。また、「平日の読書は30分以上である」の項目では、今年度の調査においても引き続き全国平均を下回り、読書習慣の定着に課題が見られる。今後も、みきゃん通帳の効果的な活用方法を検討するなど、児童一人一人の実態に応じた読書活動の充実を図る必要がある。